令和８年度　立川市立大山小学校　授業改善推進プラン

学校の教育目標	○健康で明るい子 ◎よく考え、進んで学習する子 ○心豊かに助け合う子

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
○学びの基礎・基本を身に付け、筋道を考え、表現できる力 ○既習事項や体験等を関連付けて考え、主体的に解決できる力 ○柔軟な思考力や判断力、豊かな想像力や表現力	・児童の学習状況を把握し、個に応じた丁寧な指導の継続 ・児童自らが課題を設定し解決する自主学習の充実 ・授業と家庭学習を連動させた ICT 機器の活用

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、既習事項を関連付けて日常生活に活用する力 ○読み取った事柄を深く考え、自分の考えを論理的に書き表したり伝え合ったりする力 ○目的意識をもって主体的に課題を解決し、進んで学習や読書に取り組む力	・漢字を文章の中で適切に使えるように、文章を書く際には既習の漢字を使うよう指導する ・国語の授業だけではなく他教科でも意味が分からない言葉があれば、国語辞典等で調べ、語彙を増やす。 ・日常的に短作文や授業感想など、自分の考えを文章で表現する機会を増やし、書くことへの抵抗感を減らす。 ・物語文では、情景描写や登場人物の心情変化に着目して、本文の言葉から考えることができるように指導する。 ・説明文の読み取りでは、文章構成や段落相互の関係に気を付けながら読み取ることができるようにする。 ・単元の初めに、児童とゴールを共有し、そこに至る学習計画を児童と一緒に考える。
社会	○各種資料から必要な情報を集め、社会的事象を正しく理解し活用する力 ○社会的課題を多面的に考察し、解決に向け適切に判断し議論し表現する力 ○グローバルな視野と郷土愛を持ち、平和でよりよい社会を主体的に築く力	・個に応じた丁寧な指導で地図や資料の見方の定着を図る。 ・ＩＣＴ機器等を活用した情報収集ができるようにするとともに、家庭学習においても端末活用を促す。 ・各種資料や端末の共有画面で思考を可視化し、社会の課題や解決策を比較・検討し議論する対話を仕組む。 ・児童自ら社会の問いを設定する自主学習と授業を連動させ、毎時終末に社会への関わり方を振り返られるようにする。
算数	○数量や図形の性質を理解し、計算・測定・図表化の技能を日常生活に活用する力 ○データを収集・分析し、多面的・批判的に考察して簡潔に表現し判断する力 ○数学的な処理を振り返り、よりよい解決を求めて粘り強く主体的に探究する力	・家庭学習と連動したＩＣＴ機器等の活用を日常化することにより、個に応じた丁寧な指導で計算や作図の技能の定着を図る。 ・図や式、端末で思考を可視化し、解決の過程や結果を多面的・批判的に比較・検討し合う対話を仕組む。 ・児童自ら課題を収集・設定する自主学習と授業を連動させ、毎時の終末に振り返りを行い、自分の言葉で書き残す活動を継続する。
理科	○目的に応じ器具を選択・活用して調べ、その過程や結果を適切に記録する力 ○予想や仮説を基に解決方法を発想し、多面的に考察してより妥当な考えをつくる力 ○自然に親しみ、他者と協働して粘り強く問題解決を図り学んだことを生活に生かす力	・個に応じた丁寧な指導で器具の選択・活用を定着させ、実験データの記録や共有に端末を有効活用する。 ・観察や実験の過程をＩＣＴ機器等で可視化し、仮説や結果、より妥当な考えについて検討し合う対話を仕組む。 ・児童自ら自然の問いを設定する自主学習を促し、毎時の終末に粘り強い検証と生活への応用を振り返る。
生活	○自分自身や身近な人々、自然の特徴やよさに気付き、生活上必要な習慣、技能を身に付け活用する力 ○身の回りのものとの関わりから、自分の生活について考え、表現する力 ○身の回りのものについて積極的に学びたいという意欲や自信をもって、生活を豊かにしようとする力	・近隣の公園や施設で楽しく遊ぶためには、どのようなルールやマナーが必要なのかを話し合いで決める。また、作る活動に必要な道具の技能を、失敗の共有や「コツの可視化」を通して主体的に身に付けられるようにする。 ・体験や観察の際にＩＣＴ機器を活用し、分かったことや見つけたことをカードや対話で伝え合う活動をする。 ・公園で見つけた虫や植物に興味をもち、授業外の時間にも図鑑等で自主的に調べたくなるような声掛けや支援を行う。

音楽	○音楽の構造や関わりに気付き、歌唱や器楽、音楽づくりに必要な技能を身に付け表現する力 ○既習の学習や音楽経験を生かし、音楽を形づくっている要素とその働きを捉え、表現を工夫したり、音楽のよさを見いだしたりする力 ○音楽に親しみ、他者と主体的・協働的に表現や鑑賞の学習活動に取り組む力	・児童一人一人の技能の習得状況を把握し、個に応じた助言や練習方法を工夫することで、基礎的な技能の定着を図る。 ・自分の演奏や学習を振り返って課題を見付け、既習事項やこれまでの音楽経験を生かしながら、試行錯誤してよりよい表現を目指す活動を仕組む。 ・友達と表現を聴き合ったり考えを伝え合ったりする活動を通して、協働するよさや自己の変容に気付けるようにする。
図画工作	○造形的な視点を持ち、材料や用具を活用して表し方を工夫し創造的に表す力 ○形や色の特徴を基にイメージを広げて豊かに発想・構想し、見方を深める力 ○つくりだす喜びを味わい、主体的・協働的に表現や鑑賞の活動に取り組む力	・個に応じた丁寧な指導で材料や用具の扱いを定着させ、作品の記録や家庭との連動にＩＣＴ機器を有効活用する。 ・試行錯誤の過程や作品を端末で可視化し、発想や見方について伝え合う対話活動を授業に仕組む。 ・児童自ら表したいテーマを設定する自主学習を促し、毎時の終末に創造のよさや自己の変容を振り返る。
家庭	○衣食住や消費等に関する知識を理解し、日常生活に必要な生活技能を活用する力 ○生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し表現する力 ○家族の一員として生活をよりよくしようと、主体的に課題を工夫し実践する力	・個に応じた丁寧な指導で調理や裁縫等の技能を定着させ、家庭と連動した実習の記録等に端末を有効活用する。 ・調理の工程や製品づくりの計画を端末で可視化し、よりよい解決方法を比較・検討し合う対話を仕組む。 ・児童自ら我が家の生活課題を設定する自主学習を促し、毎時の終末に実践の評価や次への改善を振り返られるようにする。
体育	○運動の行い方や特性を理解し、基本の技能や健康・安全に生きる技能を身に付け活用する力 ○自己や集団、身近な健康の課題解決に向け、活動を工夫し他者に伝えて表現する力 ○運動の楽しさを味わい、自己の健康保持増進や安全に、進んで積極的に取り組む力	・正しい動き方や、自分の動きを知るために、ＩＣＴ機器を活用し、基本的な動きを身に付けられるように指導する。 ・養護教諭、栄養士等と連携し、日常生活と結び付けながら指導し、健康的な基本的生活習慣を身に付けられるようにする。 ・自身のフォームや課題を端末で可視化し、技のコツや解決の方法を互いに伝え合う対話活動を仕組む。 ・運動の楽しさや喜びをより一層深められるように、児童一人一人の興味・関心に合わせた多様な場を用意し、運動の特性やよさを実感できるようにする。 ・健康や安全の大切さに気付かせ、すすんで自分の健康状態について知ったり、改善したりできるようにする。
外国語	○外国語の音声や語彙、表現、文構造などについて理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる力 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする力 ○外国語を通してコミュニケーションを図ろうとする態度や、言語・文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いて関わろうとする力	・基本的な表現、音声の特徴などを繰り返し聞いたり話したりして、実際のコミュニケーションの中で使いながら、知識・技能の定着を図る。 ・「誰に・何のために・どのような内容を伝えるのか」という目的や場面、状況を明確にした言語活動を設定しながら、自分の考えや気持ち、情報などを選択・整理して伝え合う場を作る。 ・ペアでの会話やスピーチなどで、間違いを恐れず、既習の表現を活用して伝え合おうとする態度が身に付くように指導する。 ・次の学習活動に主体的に取り組めるように振り返りの時間を設けたり、教師から児童の頑張りをフィードバックしたりする。